

にかほ市ガス事業譲渡に関する住民説明会 7月27日（土）開催 金浦会場

質疑応答の内容について

Q. 秋田県の少子高齢化と民営化への影響について

・秋田県では人口減少、少子高齢化が進んでいますが、このような状況でガス事業を民営化して安定経営が望めるのか心配しています。

A. 少子高齢化は全国的に問題となっていますが、にかほ市に関しては、人口減少が緩やかに進む中でも世帯数は大きく減少しないという想定を行っております。また、都市ガスの供給区域内で灯油、電気など他燃料をお使いのお宅や会社、工場なども多く存在していますので、民間会社として新規顧客を開拓する可能性は多く残されていると考えています。総合的に家庭生活をサポートする事業として、飲料水の宅配や、電気、インターネットの販売などを検討していくことも考えています。また、全国の住みやすさランキングでも上位にランクインした地域ということで、新会社においてもガスの安定供給、スポーツの冠大会開催等による教育面での貢献を通じて、にかほ市の魅力がますます高まっていくと考えておりますので、今後の事業展開に期待しているところです。

Q. 老朽管対策と更新管の耐用年数は？

・老朽管の更新などについて今後の対応はどのようになっていますか。また、更新した管はどのくらいの耐用年数になりますか。

A. にかほ市の老朽管更新、耐震化対策は平成29年度末で96パーセントを完了しています。残りの部分を新会社で引き継ぎすることになりますが、経年管の入れ替えについては令和3年、耐震化は令和4年で完了する予定となっています。更新の際は、PE管（ポリエチレン管）への入れ替えを行っておりますが、この材質については、腐食に強く耐震性にも優れているということで、耐用年数も50年程度と考えられています。経年管の更新については、ガス利用者の敷地にある宅内配管もございりますが、こちらについての更新は、利用者が主体になります。同様に20年程度経過した古い材質のガス管は、更新が必要かご確認いただきたいと思います。